

国際社会も危ぶむ

日本の表現の自由と 報道の萎縮

英国エセックス大学人権センターフェロー

～藤田早苗さん報告会～

今、日本のメディアには報道したいことを報道出来る「自由」があるのでしょうか？

NHK や TBS キャスターの降板、高市総務大臣の「電波停止」発言などもあり、巷では報道の萎縮、忖度などと危ぶまれています。

「国境なき記者団」による報道の自由度ランキングでは、日本は、世界 180 国中 2010 年度には 11 位でしたが、2016 年度には 72 位になってしまいました。。

今年 4 月、国連の「表現と自由」特別報告者、デイヴィッド・ケイさんが日本における表現の自由についての調査を行いました。ケイさんの日本への公式訪問を実現させた立役者の藤田早苗さんは秘密保護法案が上程された時にいち早く国際社会（国連）にその危険性を訴えてくれました。

その藤田さんに国際社会で日本のメディア、表現の自由の何が危険視されているのかをお話して戴きます。みなさまのご参加をお待ちしています。

【日時】 **2016年7月4日(月) 10:00～11:30**

【会場】 **アートフォーラム あざみ野 2階 セミナールーム**

(横浜市営地下鉄、東急田園都市線「あざみ野駅」下車 徒歩 5 分)

【定員】 60 名 (お申込みはお早めに)

【資料代】 500 円

【お問合せ・お申込み先】 090-9019-9026・090-8588-1819

Eメール : kurashi_kempou912@yahoo.co.jp

* 保育 (有料) (1歳半～未就学児) 申込みは直接下記へ

「子どもの部屋」 045-910-5724

* 駐車場は予約制 (有料) です。直接下記へご予約ください。

045-914-5910 (実施日の1週間前から)

出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

主催 : 暮らしと憲法をつなぐ会・憲九会

共催 : ストップ秘密保護法かながわ・平和と教育を考える都筑区民の会

